

【新人教育を受けた側から】

JA 岐阜厚生連 揖斐厚生病院 放射線科

村井 亜依

【はじめに】

揖斐厚生病院に入職して 2 年が経過し、今までを振り返り当直業務をするにあたり現在まで学んだ事を私が受けた新人教育として報告する。

【課題 1】 社会人として

入職前研修および新人研修（厚生連本部・院内）

【結果 1】

社会人としての一般的な心構えを学び、働く上で主体性と実行力が一番大切である事がわかった。

医療従事者としての接遇対応マナー、感染予防、医療事故防止対策等について学び、チーム医療の重要さと職員一人一人が病院の顔となる責任を認識した。

【課題 2】 診療放射線技師として

一日でも早く当直業務に携われるよう、当直開始日の目標設定および各モダリティ（一般撮影、CT、MRI、超音波）における目標設定

【結果 2-1】

24 年度 4 月から当直開始の目標を立てるが、目標に達する事が出来ず、当直開始日を遅らせる必要があり 25 年度 4 月に変更した。

【結果 2-2】

25 年度 4 月より当直業務に携わり、現在に至る。

【考察】

マニュアルは無く、自ら他のモダリティへ勉強しに行く予定だったが、なかなかそれを言い出すことができなかつたことが全ての予定が遅れてしまった原因であり、自分の責任であると考えた。

どのモダリティに対しても、所見についてはまだまだ勉強しなければいけない点が多く、これからも午後の時間を利用して勉強を続けていきたい。